

## 第43回九州高校放送コンテスト熊本県大会実施要項

### 1 目的

現代に生きる高校生の豊かな人間性の育成と、未来への展望を持つ人間としての成長をめざし、あわせて熊本県内における校内放送活動の健全な育成と放送教育の推進をはかる。

### 2 ねらい

- (1) 美しく豊かな日本語を大切にできる心情を育て、あわせて、話す力・表現する力を高める。
- (2) 校内マスコミの送り手としての自覚と創造性を育てる。
- (3) 学校生活の中にうるおいをもたらす、心のふれあいの場をつくる。
- (4) 現代社会における人としてのあり方・生き方を学ぶとともに、放送の果たす役割を考える。
- (5) 熊本県内における校内放送活動の向上をはかる場をつくる。

### 3 主催

九州高等学校文化連盟 熊本県高等学校文化連盟放送専門部

### 4 参加資格

- (1) 令和3年12月現在、熊本県高等学校文化連盟加盟校に在学する生徒（ただし、高等学校最終学年及びそれに該当する学年を除く）。また、以上の生徒が制作した作品に限る。
- (2) アナウンス・朗読部門への参加は、1名1部門とする。1校からの参加人数の制限はない。
- (3) 他のコンテストに出品した作品は、本大会に参加できない。また、本大会に出品した作品を、他のコンテスト等へ出品することは認めない。

### 5 参加料 無料

### 6 日時

令和3年10月31日（日） アナウンス部門・朗読部門予選

※事前提出の音声データを審査する。（※来場不要）

令和3年11月2日（火） アナウンス部門・朗読部門の決勝進出者発表予定

※熊本県高文連放送専門部のホームページで発表する。（6ページ参照）

令和3年11月7日（日） アナウンス部門・朗読部門決勝、番組部門

**※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、アナウンス部門・朗読部門の決勝審査をデータ審査（非公開）に変更するほか、番組部門を非公開で実施する場合がある。実施方法を変更する場合は熊本県高文連放送専門部ホームページで通知する。**

令和3年11月9日（火） 各部門成績発表

（九州高校放送コンテスト長崎大会出場者発表）

### 7 会場 熊本県立済々黉高等学校

〒860-0862 熊本市中央区黒髪2丁目22番1号（地点：南千反畑）

済々黉高校までのアクセス

熊本電鉄バス 系統（C4、C5、C6 堀川・新地団地経由）「済々黉前」下車 徒歩約5分。

会場は黉士館です。正門を入れて右に進んでください。

### 8 各部門の課題・参加規定

#### (1) アナウンス部門

- ① 自校のニュースや解説など、高校生活を語る若者の声を内容とし、原稿は自作したものに限り、
- ② 予選（事前提出のデータ）では、エントリー番号・発表者の氏名を含め、1分10秒以上、1分30秒以内でアナウンスする。決勝では、エントリー番号・発表者の氏名を含め、1分10秒以上、1分30秒以内でアナウンスする。（予選・決勝いずれの場合も学校名は読まない。）
- ③ 提出原稿は、長崎県高文連放送専門部ホームページの「第43回九州高校放送コンテスト長崎大会」のページ（**準備中**）から原稿用紙をダウンロードして使用する。1ページを表紙として、

本文は第2ページ以降に記入する。袋とじ(仕上がりA5判)とし、県大会に提出する原稿は3部(コピー可)とする。

- ④各校のエントリー人数には制限を設けない。
- ⑤熊本県大会の決勝進出者は30名とする。ただし、予選出場者が60名未満の場合は、出場者の5割を決勝進出者とする。また、九州大会の熊本県代表の推薦数は8名以内とする。(ただし、新型コロナウイルス感染症感染拡大の状況を踏まえ、変更の可能性はある)
- ⑥審査基準
- (a)校内放送に使用できる内容であること。
- (b)審査の視点
- i. 内容
- (ア)素材の選び方は適当であるか。(イ)文章表現は適当であるか。
- ii. アナウンスの技術
- (ア)自然な発声で、ニュースが聞き手に伝わるようにアナウンスしているか。
- ・発声 ・発音 ・マイクの使い方
- (イ)意味を正しく伝える抑揚表現ができていますか。
- ・内容把握 ・プロミネンス ・アクセント ・イントネーション
- (ウ)間(ポーズ)は適切か。
- ・テンポ ・ポーズ
- (エ)歌い上げ・作り声など、不自然なアナウンスは高く評価しない。
- (c)採点 …… 100点法で総合的に採点する。

## (2) 朗読部門

①次の指定課題4作品から1作品を選び、朗読する。作品の脚色は一切認めない。

作品番号	1	2	3	4
書名	銀河鉄道の夜	先生のお庭番	あの空の下で	老人と海
著者名 (訳者名)	宮沢賢治	朝井まかて	吉田修一	ヘミングウェイ/著 高見浩/翻訳
出版社	新潮文庫	徳間文庫	集英社文庫	新潮文庫

②予選(事前提出のデータ)では、エントリー番号・発表者の氏名・作者名・作品名を含め、1分30秒以上、2分以内で朗読する。決勝では、エントリー番号・発表者の氏名・作者名・作品名を含め、1分30秒以上、2分以内で朗読する。(予選・決勝いずれの場合も学校名は読まない。)

- \*電子書籍は不可とする。
- \*作品番号1は、平成24年以降発行のものに限る。
- \*作品番号1・3は、選定した収録作品のタイトル(短編名)を作品名として読むこと。
- \*作品番号4は、新潮文庫Star Classics名作新訳コレクション2020年新訳版。他の出版社・翻訳者のものは不可とする。訳者名は読まないこと。
- \*抽出は文頭から開始し、文末で終了すること。一文途中での開始や終了は「改変したもの」とみなす。本文中の( )内は省略してはいけない。

③～⑤(アナウンス部門の③～⑤に同じ)

⑥審査基準

(a)審査の視点

i. 内容

(ア)作品の選定は適当であるか。(イ)朗読として適切な部分を抽出しているか。

## ii. 朗読の技術

(ア) 自然な発声で、場面や心情が聞き手に伝わるように朗読しているか。

・発声 ・発音 ・マイクの使い方

(イ) 意味を正しく伝える抑揚表現ができていないか。

・内容把握 ・プロミネンス ・アクセント ・イントネーション

(ウ) 間（ポーズ）は適切か。

・テンポ ・ポーズ

(エ) ドラマ調・演劇調・一人芝居調など、過度に演出されているものは高く評価しない。

(b) 採点 …… 100点法で総合的に採点する。

## (3) ラジオ番組部門

①作品は、6分30秒以上、7分以内とする。

②作品の最後に「制作は〇〇高校放送部（委員会）でした」とクレジットコールを入れる。

③クレジットコールには、BGM・SEなど他の音声が重なってはいけない。

④計時は、最初の音からクレジットコールの終わりまでとする。

⑤作品のメディア（媒体）・データ形式・作成方法は、以下のとおりとする。

（九州大会要項案より抜粋。ただし九州大会の仕様とは異なる部分がある。）

- ・CD-Rにデータを保存する。トラックは1つのみとする。クローズ処理（ファイナライズ処理）は行わない。ファイル名は「ラジオ（学校名）.mp3」、mp3データ形式とする。
- ・再生用CD-R 1枚とバックアップ用CD-R 1枚を別途提出する。

## (4) テレビ番組部門

①作品は、7分30秒以上、8分以内とする。

②アスペクト比は、16：9（ワイド）とする。

※再生（審査用ディスプレイ）は、16：9のフル画面のみとする。

③テレビ局等の第三者が撮影した素材を主とする作品は、失格とする。

④作品の前後5秒間に、規定のテストパターンを入れる。

※テストパターンは、長崎県高文連放送専門部ホームページ（準備中）の「第43回九州高校放送コンテスト長崎県大会」のページからダウンロードして使用する。

⑤作品は、再生ボタンで再生が始まるようにする。メニューを入れない。

⑥計時は、テストパターン（カラーバー）を除いた本編部分について行う。

⑦作品のメディア（媒体）・録画方法・データ形式・作成方法は、ハイビジョン形式またはSD形式（MPEG-4 AVC/H.264）とする。クローズ処理（ファイナライズ処理）は行わない。ファイル名は「テレビ（学校名）.mp4」、いずれも mp4データ形式とする。

⑧提出前の確認事項

- ・審査用とバックアップ用は、同じメディアで作成し、それぞれ別々のケースに入れ、ラベルを貼付する。
- ・データの互換性に留意して、作成した機器のみでなく、複数の機器で再生できることを確認する。

## (5) ラジオ番組部門・テレビ番組部門に共通する事項

①高校生活に素材を求めた作品、あるいは高校生活と地域社会とのかかわりを考えた作品で、高校生の視点で描いた独創的な作品であり、それぞれのメディアの特性を生かした作品とする。ドラマ調の場合、出演者は自校生徒、かつ前述の「4 参加資格」の条件をすべて満たす者のみに限る。

②審査基準（九州大会要項案より抜粋）

(a) 校内放送に使用できる内容であること。

(b) 審査の視点

i. テーマ (伝えたい内容)

高校生ならではの視点で、高校生を取り巻く環境の中からテーマを設定し、それを番組の中で効果的に表現しているか。

ii. 制作技術

- (ア) メディアの選択 (イ) 制作方法 (ウ) 取材の方法や努力 (エ) 企画・構成  
(オ) 演出・編集 (カ) 音声や効果音の使い方 (キ) 内容伝達力  
(ク) 番組進行表の作成

(c) 採点 …… 100点法で総合的に採点する。

③ 作品のタイトルは、副題も含めて15文字以内を厳守する。

※ 作品名が英数字のみの場合は、半角文字で最大30文字（スペース含む）までとする。

④ 提出メディアは、出品作品のみを記録すること。

⑤ ケースの表に、規定に準じたラベルを貼付する。 ※自作可能

※ CD-R・DVD-Rの各メディア本体については、シールを貼らずにディスクに直接以下の項目を記載する。（プリンターで直接印字するか、ペンで手書きをする。）

- (ア) 部門名 (イ) 学校名 (ウ) 作品名 (エ) メディアの種類

※ バックアップには「バックアップ」と明記する。

⑥ 作品の中で用いる音楽・絵画・写真等の著作権を伴う著作物については、著作権、著作隣接権処理を確実に済ませておく。特に音楽は、自作自演もしくは著作権フリーの楽曲を用いることが望ましい。著作権を伴う著作物については、一覧を番組進行表の末尾に添付する。

⑦ 著作権フリーの音源素材等であっても、インターネット上のものを利用することは厳禁とする。なお、著作権フリー素材とインターネット上の素材の使用については、「校内放送研究第68回NHK杯全国高校放送コンテストならびに校内放送活動研究集会要項（以下「校内放送研究No.182」）の20～21ページで定めたものと同じとする。

※ 「校内放送研究No.182」は、下記ホームページからダウンロードすることができます。

[https://www.nhk-sc.or.jp/kyoiku/ncon/ncon\\_h/pdf.html](https://www.nhk-sc.or.jp/kyoiku/ncon/ncon_h/pdf.html)

⑧ JASRAC への手続きと支払いは各校で行い、関係書類のコピーを番組進行表の末尾に添付する。

⑨ 参加作品の著作権は、制作者（応募した学校）に帰属する。**後日、大会作品集を作成するため、収録の可否をエントリーシートに記入する。収録を承諾した学校に作品集を配付する。**

⑩ その他の詳細に関しては、「校内放送研究No.182」の17～22ページの注意事項に準じる。

⑪ 番組進行表は、「校内放送研究No.182」に準ずる形で作成し、**1部提出**する。

1 頁（様式4-1）… 学校名・作品名・タイム・制作意図（200字程度）  
スタッフ/キャスト（学年）

2 頁（様式4-2）… 必要枚数を綴じ合わせたCUEシート

3 頁（様式4-3）… 使用著作物一覧

※ 必要に応じて、音源使用許諾（様式4-4）・取材・著作物提供許諾（様式4-5）を添付する。

⑫ 作品・番組進行表は大会終了後に返却する。

⑬ 番組進行表等の必要な様式は、長崎県高文連放送専門部ホームページの「第43回九州高校放送コンテスト長崎大会」のページ（**準備中**）からダウンロードして使用すること。

⑭ 九州大会の熊本県代表の推薦数は、ラジオ番組部門・テレビ番組部門各5作品以内とする。（ただし、新型コロナウイルス感染症感染拡大の状況を踏まえ、変更の可能性はある）

## 9 その他の注意事項

(1) 九州大会の様式規定に関わらず、県大会では審査の都合上、指定された部数を提出する。

(2) 各規定や注意に反したもの、および時間の過不足は失格とし、審査の対象から外す。

- (3) 番組各部門の制作にあたっては必要に応じて著作権処理を行い、番組進行表末尾に許諾書・明細書のコピーを貼付した上で作品を提出すること。(提出時までには著作権処理を完了していない作品は失格とする。)著作権関係の用紙は、日本音楽著作権協会のホームページからダウンロードしたものを使用すること。(「校内放送研究No.182」27～29 ページ参照)
- (4) レコード会社によっては許諾に関する事務処理が遅いこともあるが、そのことを理由に作品の提出及び著作権手続きの期限を遅らせることは認めない。

## 10 参加申し込みについて

- (1) アナウンス部門・朗読部門の原稿、ラジオ番組部門・テレビ番組部門の番組進行表・作品の一切について、参加規定・参加様式を厳守すること。
- (2) 提出物および提出期限  
 ※入力フォームは、本要項とともに各学校に送付する。  
 ※送信先のメールアドレス：[tt01-kbc@g.bears.ed.jp](mailto:tt01-kbc@g.bears.ed.jp)

### ■ 10月20日(水)までに

参加各校は、エントリーシートを事務局へ提出(電子メール)する。ただし、番組部門については代表生徒名のみ記載する。(変更可、タイトルとタイムは空欄)

※ファイル名：「【〇〇高校】エントリー\_43\_九コン県大会」

### ■ 10月27日(水)までに

アナウンス部門・朗読部門の参加校は、以下のものを取りまとめて事務局へ提出(郵送または持参)する。

○アナ朗作品提出シートを事務局へ提出する。(プリントアウトしたもの及び電子メール)

※ファイル名：「【〇〇高校】アナ朗\_43\_九コン県大会」

○アナウンス部門・朗読部門出場者の原稿(1人3部:コピー可)、原稿データ、発表者がアナウンスまたは朗読した音声を録音したデータファイル及びバックアップ用のCD-RまたはDVD-R1枚 ※データ提出方法の詳細はホームページで通知します。

※アナウンス部門・朗読部門にエントリーする者は全員提出する。

※各データは発表者1人につき1ファイル作成する。

①形式：原稿データはA4サイズでPDF形式、録音データはmp3データ形式

②ファイル名：アナウンス部門：「A(エントリー番号)(氏名).pdf/mp3」

朗読部門：「R(エントリー番号)(氏名).pdf/mp3」

③全員分の録音データファイルをGoogle Driveにアップロードする。(準備中)

④学校ごとに、全員分の録音データファイルをデータ形式でバックアップ用CD-RまたはDVD-Rに記録し、表面に学校名と部門名を記入する(手書き可)

⑤参加ラベルに必要事項を記入し、バックアップ用CD-RまたはDVD-Rのケースに貼付する。

### ■ 11月 2日(火)までに

番組部門の参加校は、以下のものを取りまとめて事務局へ提出(郵送または持参)する。

○全部門作品提出シート(プリントアウトしたもの各校1枚及び電子メール)

※エントリーする全部門(番組とアナ朗)について入力する。(タイトル・タイム)

※ファイル名：「【〇〇高校】全部門\_43\_九コン県大会」

○ラジオ番組部門・テレビ番組部門の作品(CD-RまたはDVD-R)と番組進行表

※参加規定及び著作権の処理を十分確認すること。

提出先	〒860-0862 熊本市中央区黒髪2丁目22番1号 熊本県立済々黌高等学校 熊本県高文連放送専門部事務局 藤本 恵美 宛て TEL 096-343-6195 E-mail: <a href="mailto:tt01-kbc@g.bears.ed.jp">tt01-kbc@g.bears.ed.jp</a>
提出期限	<p>■令和3年10月20日(水)午後5時必着(電子メール) ○エントリーシート</p> <p>■令和3年10月27日(水)午後6時必着 ○アナウンス部門・朗読部門 ア・朗作品提出シート、原稿(1人3部コピー可)、原稿データ、音声データ(1人1ファイル)、バックアップ用CD-RまたはDVD-R(学校ごとに1枚)</p> <p>■令和3年11月2日(火)午後6時必着 ○<u>全部門作品提出シート(各校1枚)</u> ○ラジオ番組部門・テレビ番組部門 作品(CD-R, DVD-R)と番組進行表 (※締切日の午後6時頃に専門部事務局担当者が済々黌高校の正面玄関に待機しています。刻限を過ぎた場合は受け付けません。直接持参される場合は十分に時間に余裕を持ってお越しください。)</p>

### 1.1 顧問の先生方へ

- (1) 今後の大会・校内放送合同講習会などに関する連絡等は、下記のホームページに掲載します。
- (2) アナウンス部門・朗読部門決勝のライブ審査を実施する場合及び番組審査を公開で実施する場合は、生徒の参加にあたり、下記「12 新型コロナウイルス感染防止対策について」を保護者に確認の上、必ず同意書を提出させてください。(同意書は顧問の先生で保管をお願いします。)
- (3) 12月10日(金)～12日(日)の3日間、「諫早文化会館」(長崎県諫早市)を会場に、「第5回全九州高等学校総合文化祭長崎大会放送部門 第43回九州高校放送コンテストならびに校内放送活動集会長崎大会(以下、九州大会)」が開催されます。詳細につきましては、後日改めて連絡します。
- (4) 本大会への参加は1、2年生のみです。熊本県大会のアナウンス部門・朗読部門上位各8名、ラジオ番組部門・テレビ番組部門各5校が九州大会に出場することができます。**(エントリー数については、新型コロナウイルス感染症感染拡大の状況を踏まえ、今後変更の可能性があります)** また、九州大会で好成績を収めた生徒は、来年度の全国高等学校総合文化祭とうきょう大会の代表に選出されます。(各校1人または1作品のみの出場) また、アナウンス部門・朗読部門上位入賞者の中から数名、令和4年度熊本県高等学校総合文化祭の総合司会に推薦されます。

熊本県高文連放送専門部HP 『 <https://ws.higo.ed.jp/hshousou/> 』

## 1.2 新型コロナウイルス感染防止対策について

**※感染状況によっては、実施方法を変更したり大会自体を中止したりする場合があります。**

### (1) 会場内への入場制限

以下の者のみ大会会場内への入場を認める。

○アナウンス部門・朗読部門予選審査当日 [10月31日(日)]

大会関係者(予選審査員、大会運営職員)

※事前提出データによる審査のため、生徒は来場しない。

○アナウンス部門・朗読部門決勝審査及び番組部門審査当日 [11月7日(日)]

・大会関係者(審査員、大会運営職員)

(ライブ審査実施の場合)

・アナウンス部門・朗読部門決勝進出者及びラジオ番組部門・テレビ番組部門出場校の代表生徒1名および引率顧問1名

※エントリーシートに記載があり、保護者の同意が得られている生徒。(様式1)

### (2) 開催時の留意事項

○常時出入口のドアや窓を開け、換気を行う。

○こまめな手洗いと手指消毒を徹底する。

○人と人との間隔を十分に確保する。(受付時、入退場時、待機場所、発声練習時等)

○他校の生徒との接触を避ける(会話等を含む)。

○出場受付は各校の引率顧問が行う。

○学校ごとに待機場所を指定する。座席がある会場では座席指定を行う。

○会場への入場人数及び滞在時間を制限する。

○会場での飲食は禁止とする。ただし、水分補給は各自必要に応じて行う。

○共有して使用する器具や設備は、使用のたびに適正な消毒や清掃を行う。

○配付物や回収物の手渡しは原則として行わない。

### (3) 大会参加者および大会関係者に対する注意事項

○大会前2週間と大会終了後2週間は体調の変化を記録し、健康観察を行う。(様式2)

○大会参加者および大会関係者の体調(発熱や風邪、味覚障害等の症状の有無)を確認し、体調不良者の参加を認めない。

○大会参加者は、大会当日検温を行い、37.5℃以上の発熱がある場合は、参加を認めない。

○マスクの着用、こまめな手洗い、咳エチケット、ソーシャルディスタンスの確保などの感染防止対策を徹底する。

○アナウンス部門・朗読部門の発表時を除き、必ずマスクを着用する。

○用具の共有や貸し借りは行わない。

○ゴミはすべて持ち帰る。

○大会参加者に感染者が発生した場合は、保健所の聞き取りに協力する。

○濃厚接触者となった場合は、接触してから2週間を目安に自宅待機の要請が行われる可能性がある。

様式 1 (アナウンス部門・朗読部門決勝をライブ審査で実施する場合及び番組部門を公開する場合に使用)

# 同意書

新型コロナウイルス感染症に関する確認事項を遵守するとともに、健康上問題ないことを認め、第43回九州高校放送コンテスト熊本県大会への参加に同意します。

令和3年 月 日

熊本県高等学校文化連盟放送専門部長 様

参加大会名	第43回九州高校放送コンテスト熊本県大会
学校名	
生徒氏名	
保護者氏名	印
緊急連絡先	

※生徒氏名・保護者氏名の欄は、必ず自筆で記入してください。



## 健康子エック表

氏名 \_\_\_\_\_

感染症対策のために毎日の健康チェックが大切です。

毎日、体温を測り、体調のチェックをしてください。37.5℃以上の熱があった場合には、時間をおいて再度測ってください。

それぞれの症状について、ある場合は○、ない場合は×をつけてください。

日付	10月23日	10月24日	10月25日	10月26日	10月27日	10月28日	10月29日	10月30日	10月31日
曜日	土曜	日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜
体温	朝 (2回目) °C	°C	°C	°C	°C	°C	°C	°C	°C
体調	①食欲がない								
	②咳が出る								
	③息苦しさがある								
	④倦怠感（身体のだるさ）がある。								
	⑤のどに痛みがある								
	⑥ニオイや味がわからない								
その他（吐き気や同居家族の健康状態など）									

## 健康チェック表

氏名

感染症対策のために毎日の健康チェックが大切です。

毎日、体温を測り、体調のチェックをしてください。37.5℃以上の熱があった場合には、時間をおいて再度測ってください。それぞれの症状について、ある場合は○、ない場合は×をつけてください。

日付	11月1日	11月2日	11月3日	11月4日	11月5日	11月6日	11月7日
曜日	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜
体温	°C	°C	°C	°C	°C	°C	°C
	(2回目)	°C	°C	°C	°C	°C	°C
体調	①食欲がない						
	②咳が出る						
	③息苦しさがある						
	④倦怠感（身体のだるさ）がある。						
	⑤のどに痛みがある						
	⑥ニオイや味がわからない						
その他（吐き気や同居家族の健康状態など）							

作成 熊本県高等学校文化連盟放送専門部

※毎朝記入し、当日受付で提出してください。

## 健康チェック表

氏名

感染症対策のために毎日の健康チェックが大切です。

毎日、体温を測り、体調のチェックをしてください。37.5℃以上の熱があった場合には、時間をおいて再度測ってください。それぞれの症状について、ある場合は○、ない場合は×をつけてください。

日付	11月8日	11月9日	11月10日	11月11日	11月12日	11月13日	11月14日
曜日	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜
体温	°C	°C	°C	°C	°C	°C	°C
	(2回目)	°C	°C	°C	°C	°C	°C
体調	①食欲がない						
	②咳が出る						
	③息苦しさがある						
	④倦怠感（身体のだるさ）がある。						
	⑤のどに痛みがある						
	⑥ニオイや味がわからない						
その他（吐き気や同居家族の健康状態など）							

作成 熊本県高等学校文化連盟放送専門部

※毎朝記入し、各自で保管してください。

## 健康チェック表

氏名

感染症対策のために毎日の健康チェックが大切です。

毎日、体温を測り、体調のチェックをしてください。37.5℃以上の熱があった場合には、時間をおいて再度測ってください。  
それぞれの症状について、ある場合は○、ない場合は×をつけてください。

日付	11月15日	11月16日	11月17日	11月18日	11月19日	11月20日	11月21日
曜日	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜
体温	°C	°C	°C	°C	°C	°C	°C
	(2回目)	°C	°C	°C	°C	°C	°C
体調	①食欲がない						
	②咳が出る						
	③息苦しさがある						
	④倦怠感（身体のだるさ）がある。						
	⑤のどに痛みがある						
	⑥ニオイや味がわからない						
その他（吐き気や同居家族の健康状態など）							

作成 熊本県高等学校文化連盟放送専門部

※毎朝記入し、各自で保管してください。

# 再確認！

- Q.1：提出期限が18時までですが、少し遅れてもいいですか？  
Q.2：レコード会社がいつまでも曲の使用を許諾してくれないのですが、あとからでもいいですか？  
Q.3：提出した原稿に間違いがありました、取り替えることができますか？



すべて「NO」とします。

- A.1：提出期限に間に合わないものはすべて失格です。  
A.2：許諾が得られた曲、あるいは著作権フリーの曲を使用して期限までに提出しなければ失格です。  
A.3：原稿の誤記、誤読は審査の重要ポイントです。原稿を提出するときからコンテストは始まっています。事前に十分確認してから提出してください。

- 放送の世界では遅刻・誤り・著作権侵害は許されません。
- ルールを厳守しなければ、公平・平等な審査はできません。
- ルールを守らないことにより、事務局作業に支障が生じ、ひいては他の参加者の迷惑になります。

## 放送人としての十分な自覚を！

## 九州高校放送コンテスト熊本県大会用 参加ラベル

- 1 適切な大きさにコピーして、外枠に沿って切り取ってください。(不足時はコピーしてください。)
- 2 CD-RやDVD-Rのケースに貼付してください。

### アナウンス部門・朗読部門のバックアップCD-RまたはDVD-Rのケース用

アナウンス・朗読 部門	
学校名	
ファイル数	アナウンス ( )
ファイル数	朗読 ( )

アナウンス・朗読 部門	
学校名	
ファイル数	アナウンス ( )
ファイル数	朗読 ( )

### ラジオ番組部門・テレビ番組部門CD-R・DVD-Rのケース用

テレビ番組 部門	
立	高校
作品名	

ラジオ番組 部門	
立	高校
作品名	

テレビ番組 部門	
立	高校
作品名	

ラジオ番組 部門	
立	高校
作品名	